

## 第1号報告

# 平成29年度 事業報告

## I. 概要

わが国の総人口は平成20年の1億2,808万人をピークに減少局面を迎えています。平成29年9月1日65歳以上人口は、3,511万人。総人口に占める割合である高齢化率は27.7%、総人口・労働力人口の減少も伴って、高齢化はさらに進展する見込みとなっています。

国は、活力ある社会を構築するためには、“年齢にかかわらず生き生きと働ける社会（生涯現役社会）”の実現に向けた取り組みが不可欠であるとし、“高年齢者の経験や能力をいかに活かし戦力化するか”を、早急に具体化するよう企業に働きかけてきました。平成24年には、「高年齢者雇用安定法」が改正され、企業における希望者全員の65歳までの雇用確保の仕組みが整備され、年金受給年齢の引き上げもあり、今後も高年齢者の継続雇用が進むことが見込まれます。

平成27年12月国の労働政策審議会職業安定分科会において、高年齢者の就職支援については、ハローワークにおける65歳以上の高年齢者に対する就職支援の強化が必要であること、地域における高年齢者の就業機会の確保については、シルバー人材センターの機能強化とともに地域関係団体との連携の必要性が示されました。こうした状況を受け、シルバー人材センターへの各方面からの期待が高まっています。

平成29年度練馬区シルバー人材センターは設立40周年の節目の年にあたり、「40周年記念事業」を実施しました。

平成29年度における練馬区シルバー人材センターの事業活動は、平成25年度末に策定した旧「中期事業計画（平成26年度～28年度）」が終了し、平成29年度に新たに設けた「中期事業計画（平成29年度～平成31年度）」に基づき策定した「平成29年度 事業計画」により実施しました。

計画のうち、主な項目として、①会員の項目では、発注者に信頼される会員を目指して、倫理研修や接遇力向上研修などを実施しました。また、②地域社会への還元項目では、練馬区、警察署、保健所、高齢者相談センター等の協力を得て、区民の方々も自由に参加できるブロック事業を実施しました。ボランティア清掃は全15班で実施されました。③組織の項目では、組織強化の一環として、地域班組織の充実のため平成28年度に引き続き班会議を利用した会員交流・懇親の機会を設けました。

つぎに、事業実績等についてご報告します。

まず、会員数の動向では、対前年度比21人増の3,716人と、微増の状況とな

りました。29年度中の新規加入者は492人（男性287人、女性205人）、退会者は471人（男性297人、女性174人）でした。入会理由は健康の維持増進が最も多く、退会の理由は病気が最も多かった。企業における高齢者雇用が進み、多様な就業機会が確保されつつあることから急激な会員増は見込めない状況が続いています。

平成29年度の受託件数は20,729件（公共600件2.89%の増、民間20,129件2.12%の増）で対前年度比420件、2.07%の増。公民ともに増加しましたが、継続的に安定した新規発注は数少なく、民間単発などが増えています。

平成29年の契約金額は1,338,958千円で、対前年度比838千円、0.06%の増となり、前年の0.4%の増に比べ大きく落ち込みました。契約金額では、公共累計549,603千円で対前年度比3,585千円0.66%の増、民間累計では789,355千円で対前年度比2,747千円0.35%の減となっています。

公共と民間の割合（公民比）は、件数では2.89%対97.11%で圧倒的に民間が多い状況は変わっていません。契約金額では、41.05%対58.95%となりました。

平成29年度の就業実人員は2,622人で、年度末の会員数で割った就業率は70.56%（男70.18%、女71.27%）で、実人員は対前年度比5人の減、就業率は0.54ポイントの減となりました。

平和台事業所の事業実績は、契約金額23,482千円と前年度比2,458千円の減で2年連続の実績減となっています。一人あたりの配分金では月額約44,114円となり、昨年度の実績を下回りました。

“お困りごと支援事業”に加え、介護保険制度の地域生活支援事業として、平成28年度より受託した「シルバーサポート事業」を継続して実施し、合わせて400件の利用が有りました。また、平成29年度から区内の特別養護老人ホームで就業する「元気高齢者介護施設補助事業」を受託し、全29施設で開始し、58名が新規就業しました。

以上、事業運営の概略を述べました。契約実績は長期的な見通しの中で楽観視できる状況には至っておらず、今後も安定的に継続契約を希望する民間の新規発注者の開拓に力を注ぐとともに、平成30年度から開始する派遣事業により就業開拓に力を注ぎます。

## Ⅱ. 実施事業の詳細

### 1. 設立40周年記念事業

昭和52年7月に前身の高齢者事業団として設立され、平成29年度に40周年を迎えました。平成28年11月に「40周年記念事業実行委員会」を設置、実行委員会の下に、記念誌部会、記念事業部会、記念式典部会を設け事業を実施しまし

た。会員、役職員一同で40周年を共に喜ぶとともに、先輩会員のご尽力や長年ご愛顧頂いているお客様への感謝の気持ちを忘れず、これからも「働く喜び、仲間づくり、地域貢献」を合言葉に次の10年をめざそうというもので、7つの事業を実施しました。

	事業名	実施時期	内容
1	記念誌の発行	平成29年11月1日発行	4000部 全会員に配布
2	会員意識意向調査	平成29年8月 回収率62.1%	概要版（記念祭当日配布）
3	練馬区役所アトリウムパネル展	平成29年9月15日～19日	センターの沿革・就業状況・各種教室事業の紹介
4	「練馬まつり」「練馬区独立70周年記念パレード」参加	平成29年10月15日 豊島園	似顔絵かき 小物販売
5	「練馬区健康いきいき体操」の普及（継続活動）	平成29年9月～10月	普及員の協力により、班会議で実施
6	「設立40周年記念祭」 練馬文化センター	平成29年11月16日	式典・アトラクション（活動弁士と生バンドによる無声映画）
7	教室事業作品展 練馬文化センターギャラリー	平成29年11月22日～27日	小物作り、書道、絵手紙、ボトルシップ 写真、語学、学習等

## 2. 普及啓発活動

東京しごと財団の広報活動計画およびブロック各区と密接に連携し、積極的に普及啓発活動を行いました。

「わたしの便利帳」、「練馬区高齢者生活ガイド」、「練馬区老人クラブ連合会会報誌」、「こぶしハーフマラソンプログラム」などに、シルバー人材センターの仕組みや会員募集の広告を掲載いたしました。また、平成28年度から開始した練馬区の介護予防事業「はつらつシニアクラブ」に理事、職員が参加してパンフレットの配布や相談対応をしました。

10月の広報活動強調月間には、40周年事業として、練馬まつりに拡大参加し、シルバー人材センターのPRを行いました。鉄道駅への広告に加え、路線

バス2台の後部にラッピング広告を掲示しました。

その他、従来から引き続き実施した普及啓発活動は次のとおりです。

実施項目	実施内容	実施時期または回数
区広報紙へのPR記事掲載	区が発行する「ねりま区報」を活用し、区民への普及啓発に努めました。	随時
新聞折込みによるチラシ配布	センター事業のPRおよび会員募集に努めました。	練馬区全世帯 1回
機関誌の発行	「こぶし」、「事務局だより」を発行し、情報の提供、会員相互の連帯の拡大などに努めました。	こぶし（会報） 2回 （1回分は記念誌） 事務局だより 12回
街頭宣伝	センターの宣伝文入りティッシュペーパーをイベント等で配布し、センター事業のPRに努めました。	清掃ボランティア 随時 練馬まつり 1回
リーフレット（案内書）の作成配布	センター事業の案内書（全シ協、財団、当シルバー作成）を区施設の窓口等に置き、PRに努めました。	随時
会員等による口コミPR	就業の機会や各種会議を活用したチラシの配布等、センターのPRに努めました。	随時
区内報道機関によるPR	区内報道機関へ情報提供し、記事の掲載等PRに努めました。	1社 4回
センター「ホームページ」の活用	ホームページを活用し、会員、顧客の需要（期待）に応えられるように努めました。	常時
区内関係団体等との連携	産連、商連、法人会、社会福祉協議会ボランティアコーナー等と連携し、就業支援事業の拡大に努めました。	随時
駅における広告宣伝	西武線練馬駅および石神井公園駅ホームの広告掲示板を活用し、PRに努めました。	常時
高齢者就業相談所との連携	ワークサポートねりま、都内ハローワークや東京しごと財団等と連携し、就業に関する情報提供に努めま	随時

	した。	
--	-----	--

### 3. 相談業務

一般高齢者区民および会員を対象とした就業相談を、理事が出張して相談を行いました。

- (1) はつらつセンター関 毎月第1・第3(火) 13:00～15:30 21回
- (2) はつらつセンター光が丘 毎月第1(火) 午前・午後 10:00～15:00 22回

### 4. 就業の開拓（開発）および提供

会員の就業機会を確保し、適正で公平な就業機会の提供を図るため、次のような活動を行いました。

- (1) 特定事業については、「会員の就業に関する要綱」の目的に沿って、多くの会員が公平に就業できるよう機会均等に努めました。
- (2) 刃物研ぎ事業は、新規就業会員の確保に向けて講習会を実施するとともに、事業拡大を目指して新規実施箇所の開拓を積極的行いました。
- (3) 新規教室事業の会員講師を募集。朗読、折り紙、写真の各教室を開始しました。
- (4) 家事援助、英語・英会話教室講師、除草、大工・塗装・表具・壁紙・ハウスクリーニングの会員募集を行いました。

### 5. 事業の効果的な推進

平成29年度に各種会議を開催し、センター事業の効果的な推進を図りました。

- |                       |               |
|-----------------------|---------------|
| (1) 定時総会              | (別表1)         |
| 第7回定時総会（平成29年度）開催     | 平成29年6月23日（金） |
| (2) 三役会               | 13回           |
| (3) 理事会               | 14回（別表2）      |
| (4) 専門部会              |               |
| ① 広報部会                | 5回            |
| ② 安全管理部会              | 4回            |
| ③ 地域班部会               | 1回            |
| ④ 事業部会                | 2回            |
| (5) 合同会議              |               |
| 理事・監事、参与、班長、女性幹事      | 4回            |
| (6) 地域班会議（女性会員懇談会も含む） | 15回           |

- (7) 職群班会議
- |             |    |
|-------------|----|
| ① 刃物研ぎ実行委員会 | 2回 |
| ② 語学教室運営委員会 | 3回 |
| ③ 学習教室運営委員会 | 4回 |
| ④ 小物教室運営委員会 | 2回 |
- (8) 練馬区シルバー人材センター設立40周年記念事業実行委員会
- |          |    |
|----------|----|
| ① 実行委員会  | 5回 |
| ② 記念誌部会  | 6回 |
| ③ 記念式典部会 | 5回 |
| ④ 記念事業部会 | 5回 |

## 6. 研 修

会員、役員の就業に関する知識や技能の習得と教養の向上を図ることを目的として、センター独自の研修を実施するとともに、第3ブロック共同研修および東京しごと財団が主催する研修を活用しました。また、接遇力向上のため、各職種別に接遇研修を実施しました。

(別表3)

## 7. 会員の安全対策および健康保持対策

安全就業と健康対策を推進するため、次のようなことを行いました。

- (1) 会員の安全就業を推進するため、随時、就業現場の巡回指導を行い、事故の発生防止に努めました。
- (2) 新入会員募集の入会説明会において「安全就業のしおり」を配付し、安全就業の徹底を図りました。
- (3) 交通事故をはじめ安全対策情報を事務局だよりで周知しました。
- (4) 事務局だよりで熱中症予防の注意喚起を行いました。
- (5) 会員の緊急連絡先等を記入した安全カードとこれを身につけるためのウェストポーチを就業会員に配付しました。

## 事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」及び「定款第40条第1項第2号」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人 練馬区シルバー人材センター 会長 山下 越子